

## 【平成 29 年 3 月 27 日】「平成 29 年度地盤工学会賞 地盤環境賞」を受賞しました。

平成 29 年度地盤工学会賞受賞者が、平成 30 年 3 月 16 日の公益社団法人地盤工学会理事会において決定いたしました。当センターは、地盤環境賞を受賞いたしました。なお、学会賞は 6 月 6 日の第 60 回通常総会で授与されます。

### <学会受賞名>

平成 29 年度地盤工学会賞 地盤環境賞

### <受賞業績名称>

「100 万 m<sup>3</sup> クラスの大規模・再生活用事業を対象とし、新たに強化・構築した ETC 車両認証による電子マニフェストを活用した、建設汚泥統合管理システムを開発・運営した「資源循環型共同プロジェクト」モデル事例」

### <共同受賞者>

阪神高速道路(株)  
阪神高速技術(株)  
(一財)関西環境管理技術センター  
東洋建設(株)  
大阪ベントナイト事業協同組合  
(一財)地域地盤環境研究所  
勝見 武 (京都大学大学院地球環境学堂)  
嘉門 雅史 ((一社)環境地盤工学研究所)

### <受賞理由>

本業績は、阪神高速道路の大和川線事業（道路事業）から発生する大量の建設汚泥を大阪市の土地造成（港湾事業）に再生利用するという異なる事業間で連携・共同化を進めた全国初の事業スキームであり、事業コストの削減や CO<sub>2</sub> の削減、さらには最終処分場の延命化など、社会的貢献が非常に高い。また技術的には、ETC と GPS を活用したリアルタイムの車両監視システムにより大量の建設汚泥のトレーサビリティの確保を可能とし、総合的な建設マネジメントとして開発・運用されている点の独創性が高く評価された。今後の大規模な公共工事で大量に発生する建設発生土や汚泥の再生利用のあり方を示す事例として、本業績は地盤環境賞にふさわしいと認められた。

### <関連リンク>

◆平成 29 年度地盤工学会賞受賞者の決定◆（地盤工学会 WEB サイト）

[https://www.jiban.or.jp/?page\\_id=7093](https://www.jiban.or.jp/?page_id=7093)